

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担当教員	本多 健	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>質の高い臨床を行う為には解剖生理学の知識が欠かせない。解剖生理学 I では人体の構造と運動器(骨)について学習する。まず、人体の構造、基本用語・人体の区分について学習し、骨の概略を学び、人体の大まかな機能構造を理解する。運動器では大きく体幹・上肢・下肢の3部に分けてそれぞれ骨の名称・部位を学ぶ。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>平常評価(小テスト、骨課題)30%、期末試験70% 60点以上を合格とする。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>教科書:『解剖生理』東洋療法学校協会編、医歯薬出版(2022年第1版)、(旧教科書:『解剖学(第2版)』『生理学(第3版)』、東洋療法学校協会編、医歯薬出版)生理学の基礎、運動器 持参物:教科書を常に使用します。 資料・課題:そのつど配布を行う。 参考図書:『解剖学(第2版)』『生理学(第3版)』、東洋療法学校協会編、医歯薬出版/『解剖学講義』、伊藤隆著、南山堂/『イラスト解剖学』、松村譲児著、中外医学社/『解剖学アトラス』、越智淳三訳、文光堂/『解剖学』、清水勘治著、金芳堂など いずれも図書室蔵書</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>○シラバスにて教科書「解剖生理学」の項目を記述してます、事前に指定所をよく読んで予習しておくことが望ましい。また、模型を使用する等して理解を深めましょう。 ○授業中に課題を配布するので、授業後に課題を実施して、指定日に提出すること。 ○授業のはじめに前回までの授業内容から、小テストを実施しますので、復習をし、課題・資料などを見て確認を行うこと。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>解剖生理学は重要な基礎科目です。なにより人体の構造は鍼灸師、医療人として必須の知識です。特に解剖生理学 I は実技においてはもちろんのこと、経絡経穴学・整形外科・リハビリテーション医学などにも関わってきます。しっかり理解しておくようにしましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	人体の構成、細胞と細胞小器官、遺伝子について理解し、説明できるようにする。	教科書・プリント		教科書をよく読み、細胞の構造を復習し、理解する事。
		各コマに おける 授業予定	人体の構成 教科書P2~5			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	体液と恒常性、組織と器官について理解し、説明できるようにする。	教科書・プリント		教科書をよく読み、体液と組織・器官の構造を復習し、理解する事。
		各コマに おける 授業予定	体液と恒常性、組織と器官 教科書P6~10			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	解剖生理学を学ぶ上で必要な基本用語と人体の区分を理解し、説明できるようにする。	教科書・プリント 骨格模型 骨課題の配布		教科書をよく読み、基本用語と人体の区分を復習し、理解する事。
		各コマに おける 授業予定	骨の基礎 教科書P14~17			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	骨の概論。大まかな骨の名称、骨の構造・分類などを理解し、説明できるようにする。	教科書・プリント 骨格模型		骨課題 P2、3【作業課題】を行い、骨の名称を覚える。 次回小テストを実施するので、教科書と配布プリント内容を復習しておく。
		各コマに おける 授業予定	全身の骨の名称 教科書P18~20 P28			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	体幹骨の分類、背骨を作る椎骨の分類。頸椎・胸椎を理解し、説明できるようにする。	教科書・プリント 骨格模型		骨課題 P16~19【作業課題】を行い、骨の部位の名称を覚える。
		各コマに おける 授業予定	脊柱(胸椎、頸椎) 教科書p28~31			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P20～23 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。 次回小テストを実施する ので、教科書と配布プリ ント内容を復習してお く。
	各コマに おける 授業予定	体幹骨の分類、背骨を作る椎骨の分類。腰椎・仙椎・尾椎を理解し、説明できるようになる。 脊柱(胸椎、腰椎、仙椎、尾椎) 教科書P31～2		
第7回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P24～26 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。
	各コマに おける 授業予定	胸郭を構成する骨、胸骨・肋骨の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 胸郭(胸椎、肋骨、胸骨) 教科書P33		
第8回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P24～26 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。 次回小テストを実施する ので、教科書と配布プリ ント内容を復習してお く。
	各コマに おける 授業予定	胸郭を構成する骨、胸椎の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 胸郭(胸椎、肋骨、胸骨) 教科書P33		
第9回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P28～31 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。
	各コマに おける 授業予定	上肢帯(鎖骨・肩甲骨)の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 鎖骨、肩甲骨、上腕骨 教科書P34、35		
第10回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P30～33 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。
	各コマに おける 授業予定	上腕の骨、前腕の骨の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 上腕骨、尺骨、橈骨 教科書P36		
第11回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P34～39 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。 次回小テストを実施する ので、教科書と配布プリ ント内容を復習してお く。
	各コマに おける 授業予定	手の骨、下肢帯の骨の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 手根骨、手の骨、手の屈筋支帯、寛骨 教科書P36、39		
第12回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	科書・プリント 骨格模型	骨課題 P38～42 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。
	各コマに おける 授業予定	下肢帯の骨と骨盤の名称を理解し、説明できるようになる。 寛骨(腸骨・坐骨・恥骨) 教科書P40		
第13回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P44～47 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。 次回小テストを実施する ので、教科書と配布プリ ント内容を復習してお く。
	各コマに おける 授業予定	骨盤の、男女差と大腿部の骨、膝蓋骨の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 骨盤の男女差と大腿骨、膝蓋骨 教科書P41～42		
第14回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	骨課題 P48～52 【作 業課題】を行い、骨の部 位の名称を覚える。 次回小テストを実施する ので、教科書と配布プリ ント内容を復習してお く。
	各コマに おける 授業予定	下腿と足の骨の形状と名称を理解し、説明できるようになる。 脛骨、腓骨、足の骨 教科書P42～45 プリントp29～30		
第15回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書・プリント 骨格模型	自分が間違えた所や分 からなかった所を覚えて おき、終了後に全授業 の中からもう一度探し出 し、正しい内容を覚え る。
	各コマに おける 授業予定	骨の範囲を理解し、説明できるようになる。 まとめ		